

# TOTO

BP

## ウォシュレット® 一体形便器 (便器部) ◆ “ウォシュレット” はTOTOの登録商標です。

**必ず実施**

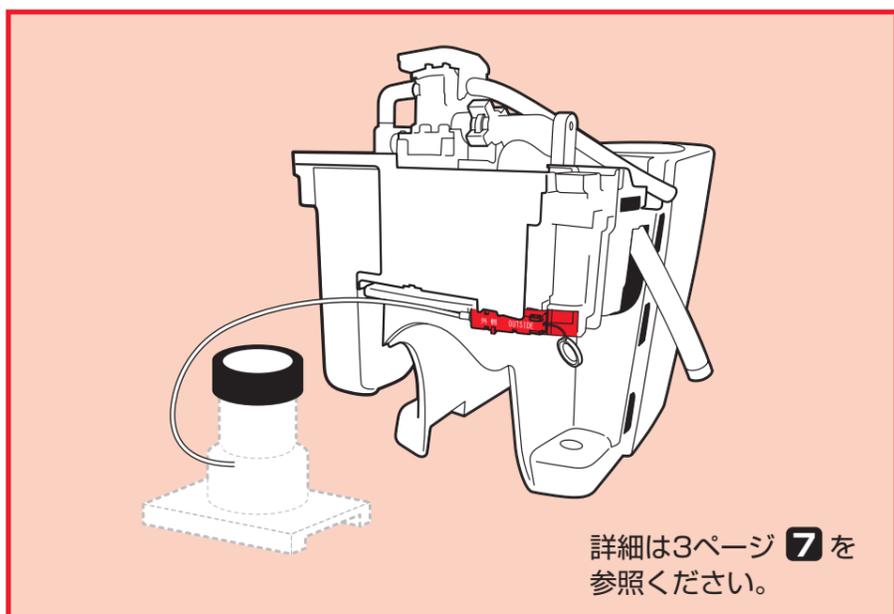
商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

**従来にはない施工が必要です。**

**排水ソケットに付いている手動レバーを必ず便器に取り付けてください。**

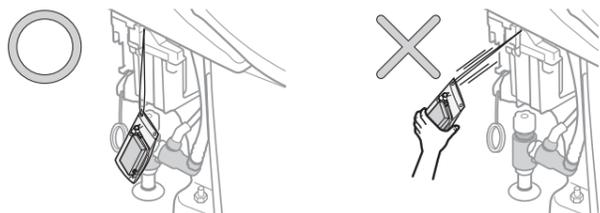
⇒ 詳細は3ページ 7 を参照ください。

### 従来製品からの主な注意点



詳細は3ページ 7 を参照ください。

停電時に使用するため電池ボックスは取り外さないでください。



※袋のヒモが切れてしまった場合は、もう一方の穴に通して取り付けてください。

### 安全に関するご注意 (安全のために必ずお守りください)

施工の前に、この「安全に関するご注意」をよくお読みのうえ、正しくお取り付けください。この説明書では、商品を安全に正しくお取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

- ⊘ してはいけない「禁止」内容です。左図は、「禁止」を示します。
- ❗ 必ず実行していただく「強制」内容です。左図は、「必ず実行」を示します。

**注意** この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

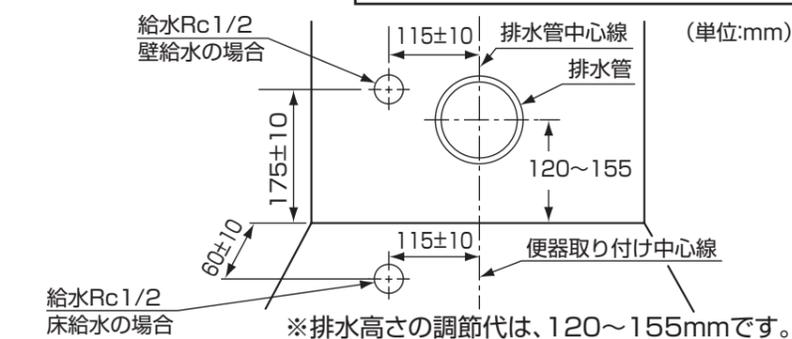
- ⊘ **便器に強い力や衝撃を与えない**  
便器が破損してけがをしたり、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。
- ⊘ **給水フレキホースを無理に折り曲げたり、たばこの火やカッターなどで、傷をつけない**  
給水フレキホースが破損し、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。
- ⊘ **止水栓を開けたままで、給水フィルターを外さない**  
止水栓を閉めないと水が噴き出して、家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。
- ⊘ **浴室など湿気の多い場所に設置しない**  
火災、感電、発熱、ショートの原因になります。
- ❗ **設置工事に使用する部品は必ず付属部品および指定部品を使用する**  
正常な取り付けができなくなる可能性があります。
- ❗ **設置工事は、この説明書に従って確実に**  
故障や水漏れの原因になります。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

### 取り付け前のご注意



排水管サドル・支持金具・バンドなどで固定する場合は、便器排水口が接続できる高さに調整したあとに実施ください。固定の際は高さ調整した排水管を引っ張ったり、突き上げたりしないように注意ください。



※排水高さの調節代は、120~155mmです。

※本紙記載の品番は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

### 注意

❗ **排水管を逆勾配にしない**  
器具の洗浄性能が低下したり、汚水が器具のトラップ内に逆流するおそれがあります。

排水管は、必ず1/50以上の勾配を確保してください。

- 取り付けに必要なトイレスペースを確保するとともに、ドアの開閉に支障がないことを確認してください。
- 室内暖房付きの場合は温風吹き出し口から150mm以上の空間を確保してください。(壁が変色する原因となります)
- 後ろ壁に床面から高さ1400mm以下の棚やキャビネットなどがあると、リモコンの受信条件が悪くなり、リモコンを操作しても本体が反応しないことがあります。(棚、収納キャビネットは下端 FL+1400mm以上を目安としてください)
- 施工前に給水取り出し位置および排水管位置が所定の位置であることを確認してください。
- 電源は交流100V(50/60Hz)、定格消費電力は機種によって異なりますのでウォシュレット本体同梱の施工説明書をご確認ください。
- 電源コードの長さは、約1mです。コンセントはこの長さに適した位置に設置しているか確認してください。
- 給水圧力は最低必要水圧(流動時)0.05MPa(10L/分)、最高水圧(静止時)0.75MPaです。この圧力範囲でご使用ください。
- 商品への通電および通水は取り付け作業をすべて終えてから行ってください。
- 止水栓を取り付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。
- 商品セット図は、住宅&パブリックカタログ・専用カタログをご確認ください。

### 同梱部品の確認 ※部品があるか、下記を参照して確認してください。

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

便器本体	排水ソケット	固定片
<p>※電池ボックス付き(1個)</p>	<p>排水ソケット(1個)</p> <p>※ゴムジョイント手動レバー付き</p>	<p>固定片(1個)</p>
<p>すっきりパネル</p>		<p>接着ブロック(1個)</p>
<p>すっきりパネル(左) すっきりパネル(右) (1個) (1個)</p>		<p>木ねじ(φ5×40:2本)</p>

給水金具	固定金具類	その他
<p>止水栓(1個)</p>	<p>六角ボルト(2本) 止め金具(2個)</p>	<p>開閉工具(1個) ※すっきりパネル裏側に貼り付けてあります。</p>
<p>分岐金具(1個) エルボ(1個) パッキン(1個)</p>	<p>ナット(2個) ワッシャー(2個)</p>	
<p>ストレート管(1個) ふさぎシート(1枚)</p>	<p>木ねじ(排水ソケット用) (φ5×50:4本)</p>	<p>位置決めシート(1枚) 説明書(1部)</p>

# 施工手順

この施工手順に従って便器・ウォシュレットを正しく取り付けてください。(  は本紙、 はウォシュレットの施工説明書を参照ください)



※大便器背面カバー(別売品)の取り付けは、4ページをご確認ください。

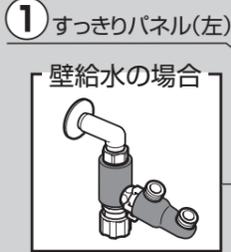
## 各部のなまえと施工のポイント

### ポイント①

すっきりパネルの取り付けはウォシュレット本体を取り付けたあとに行うこと!



注意 電池ボックスは取り外さないでください。



注意 便器同梱のフィルター付き止水栓を必ず取り付けてください。ゴミかみによる止水、吐水不良になるおそれがあります。

### ポイント②

便器を取り付ける際は、分岐金具を外向きに回転させておくこと! (→ ⑧)

外側に回転させないと、便器本体取り付け時に、便器本体または分岐金具が破損するおそれがあります。

### ポイント③

- ① 火や熱で加工したり、切ったりしないでください。
- ② 溶剤や接着剤を塗布するとパッキンが溶けるおそれがあります。
- ③ 取り付けには必ず石けん水を使用してください。石けん水を使用しないとパッキンが切れるおそれがあります。
- ④ 取り付け後は必ず水溜試験を行い、水漏れしないことを確認してください。
- ⑤ 取り付け後、水漏れする場合はPシール(TOTO品番: TZ106A)をパッキンと排水口の境目に充てんしてください。排水口にパッキンを取り付けた際の状態について、以下を確認してください。  
[パッキン側面図]



パッキンの 陶器排水口先端ヒダが傾く かはみ出る  
排水ソケットの高さ、排水ソケット口径の陶器公差・排水管の高さの施工誤差によっては、パッキンがはみ出すことがあります。水溜試験の結果、水漏れしていなければパッキンがはみ出しても品質的に問題はございません。

### ポイント④

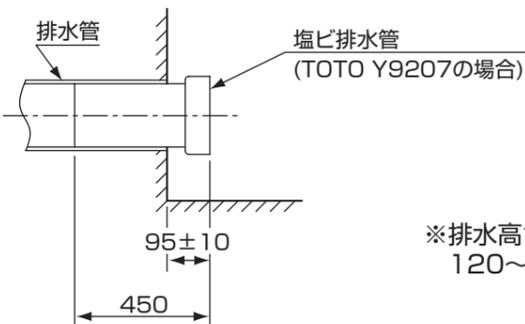
位置決めシートで固定片の位置を正しく出すこと! (→ ⑤)

## 取付方法

### 1 排水管の取り出し

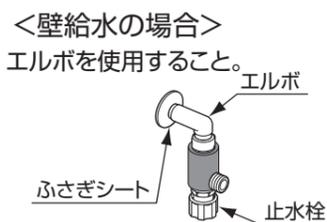
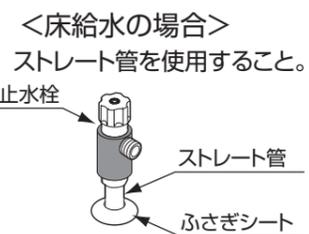
排水管を所定の位置に取り出す。

(単位: mm)



### 2 止水栓の取り付け

止水栓を所定の位置に取り付ける。

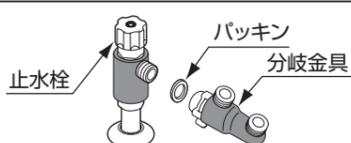


注意 便器同梱のフィルター付き止水栓を必ず取り付けてください。ゴミかみによる止水、吐水不良になるおそれがあります。

・ねじ部にはシールテープを巻いて取り付けてください。

### 3 分岐金具の取り付け

止水栓にパッキンと分岐金具を取り付ける。

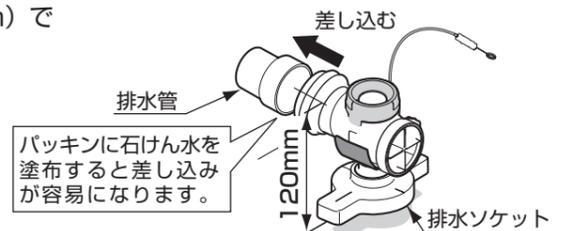


### 4 排水ソケットの仮置き



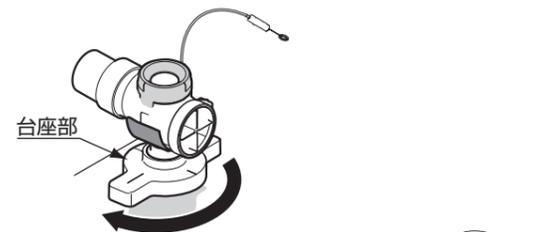
注意 便器取り付け中心線と排水ソケットの中心がほぼ一致するように仮置きしてください。

- ① 便器取り付け中心線をけがく。
- ② 排水管高さが、120mm (調節代: 120~155mm) であることを確認する。



- ③ 台座を縮めた状態で、排水管に排水ソケットを差し込む。

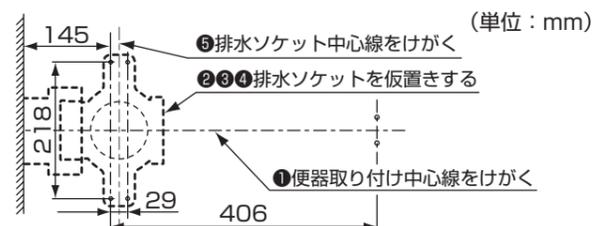
- ④ 台座部を床に当たるまで回転させる。



- ⑤ 排水ソケットが壁に平行になるように調整し、排水ソケット中心線をけがく。



<排水管の出代95mmの場合>



- ⑥ 排水ソケットを外し、排水ソケット取付木ねじ位置(4カ所)にφ3程度の下穴をあける。

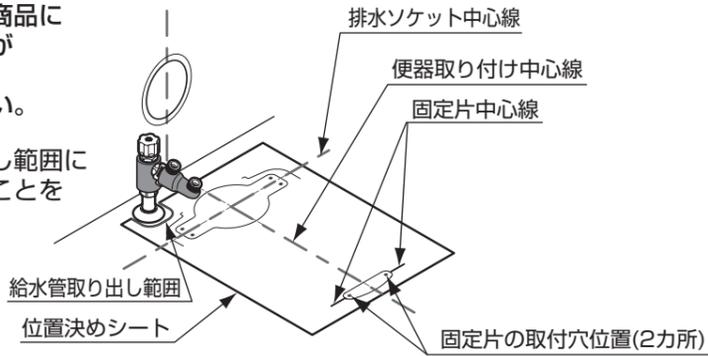
# 取付方法

## 5 固定片の取り付け

(位置決めシート設置状態【床給水の場合】)

①位置決めシートを便器取り付け中心線と排水ソケット中心線にあわせるようにおく。

- ・給水位置が適切でないと、止水栓が商品に干渉することがありますので、ご注意ください。
- ・給水管取り出し範囲に止水栓があることを確認する。

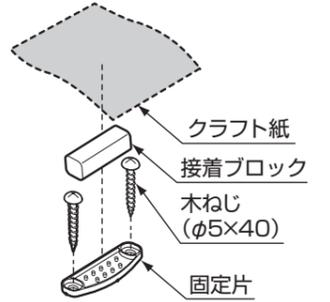


②固定片取付穴位置、固定片中心線をけがく。

③位置決めシートを外し、固定片を所定の位置に木ねじで床(2カ所)に固定する。

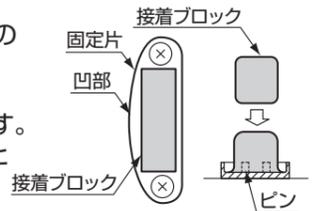
- ・床に木ねじをねじ込む前に、φ3程度の下穴をあけると作業がしやすくなります。

④接着ブロックを、クラフト紙に包んだ状態のまま固定片の凹部のピンに差し込み、指で軽く押す。



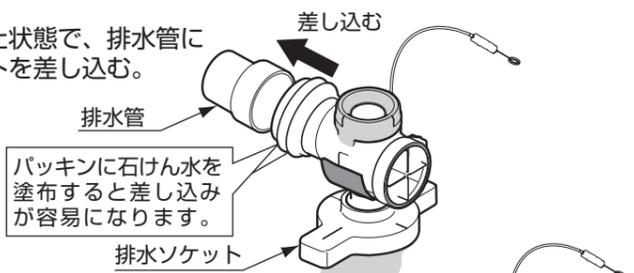
### <接着ブロックについて>

- ・施工直後のやり直しの際は、接着ブロックの形を右図のように整えてください。
- ・接着ブロックの方向性は特にありません。
- ・気温が下がると接着ブロックが固くなることがあります。このときは、20～30℃のぬるま湯の中に、包装袋ごと入れて柔らかくして使用してください。
- ・詳細は、接着ブロック同梱の注意書を参照してください。

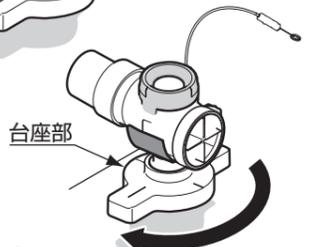


## 6 排水ソケットの取り付け

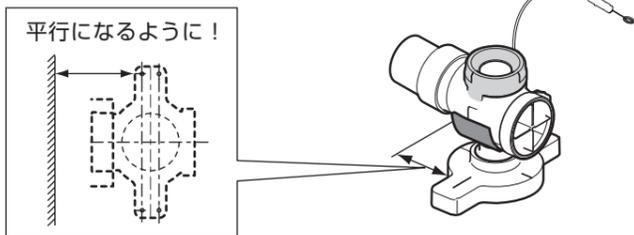
①台座を縮めた状態で、排水管に排水ソケットを差し込む。



②台座部を床に当たるまで回転させる。



③排水ソケットが壁に平行になるように調整する。



④排水ソケット固定部(2カ所)に六角ボルトを立て、止め金具を通したうえで、木ねじで床(4カ所)に固定する。

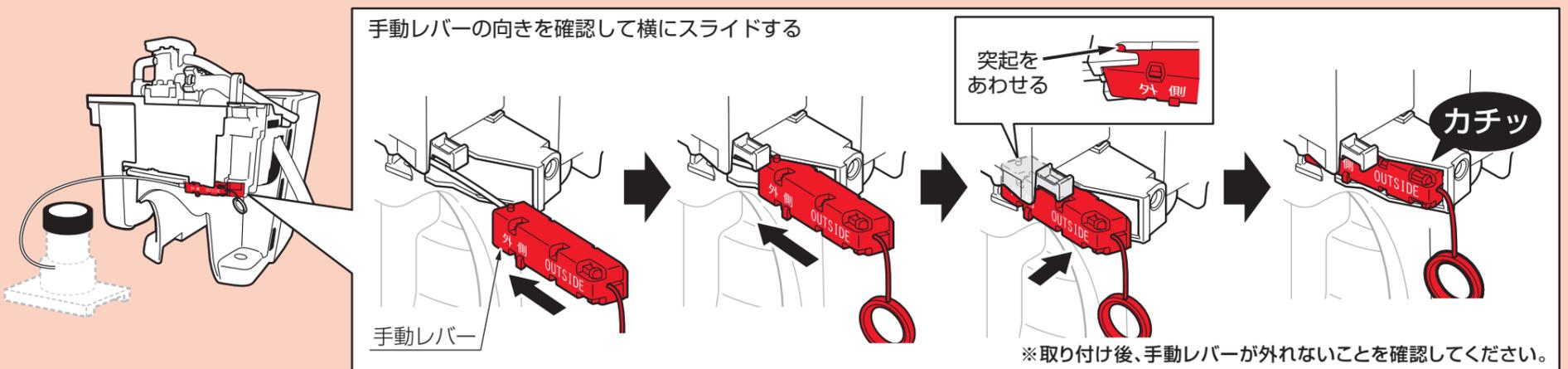


**注意** 排水ソケットの六角穴に、六角ボルトの頭部を確実にはめ込む。確実にはめ込まれていないと、便器がガタつくおそれがあります。

## 7 手動レバーの取り付け

## 8 便器の取り付け

動画はこちら →  
※通信料がかかります。



### 電子音が鳴り、ランプがすべて点滅している場合

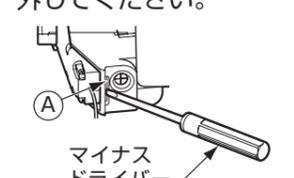
電子音が鳴り、ランプがすべて点滅している場合

①電源プラグを抜く → ②7に従って手動レバーを取り付ける → ③電源プラグを差し込む → 電子音が止まり、ランプがすべて点滅していないことを確認する

電子音が鳴る、ランプがすべて点滅している状態の図 (点滅: 緑色、ランプが点滅: 緑色) と、電源プラグを抜く様子、そして電子音が止まり、ランプがすべて点滅していない状態の図 (点滅: 緑色、ランプが点滅: 緑色) を示しています。

### <手動レバーの取り外し>

マイナスドライバーなどを図(A)に挿入し、ロックを解除して取り外してください。



# 取付方法

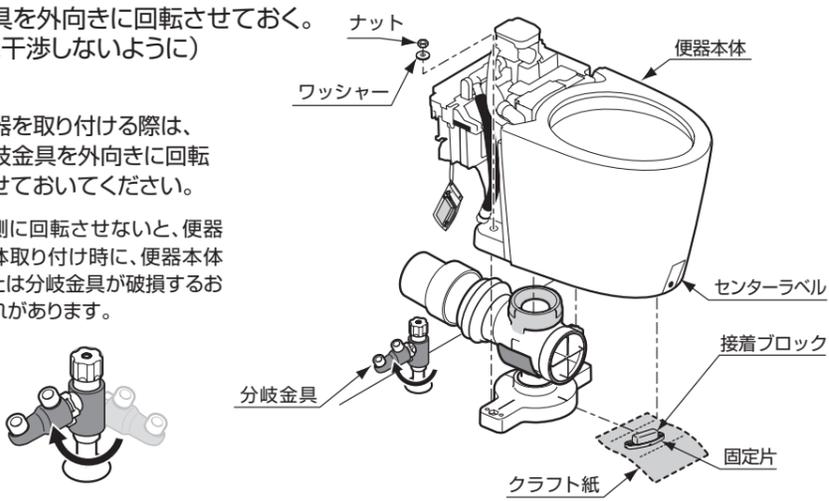
## 8 便器の取り付け

- ① 分岐金具を外向きに回転させておく。  
(便器に干渉しないように)



注意  
便器を取り付ける際は、分岐金具を外向きに回転させておいてください。

外側に回転させないと、便器本体取り付け時に、便器本体または分岐金具が破損するおそれがあります。



- ④ センターラベルを基準に便器の位置を微調整する。

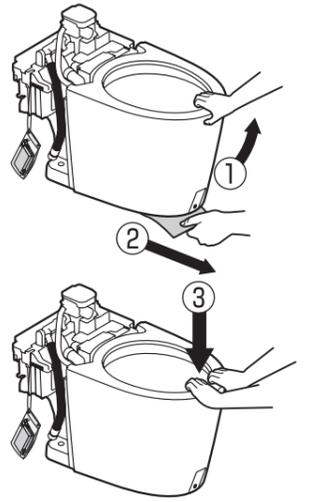
- ⑤ 便器先端を少し持ち上げ、固定片の上のクラフト紙を引き抜く。

- ⑥ 接着ブロックがつぶれるまで、便器をしっかりと押さえ、センターラベルをはがす。



注意  
センターラベルを基準に便器の位置を微調整してください。位置合わせ後、センターラベルをはがしてください。

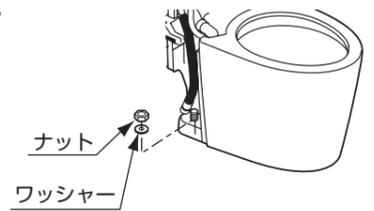
便器が床につくまでしっかり押さえてください。



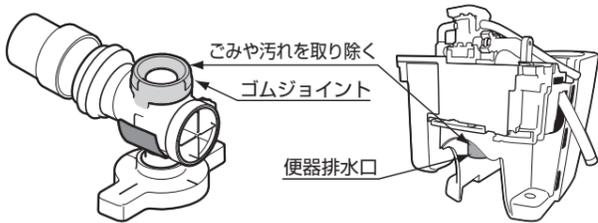
- ⑦ 便器の取付穴(2カ所)をナット、ワッシャーで固定する。



注意  
ナットを確実に締めてください。ナットを締め過ぎて便器を割らないように注意してください。



- ② 便器排水口および排水ソケットの接続部周辺のごみや汚れを取り除く。



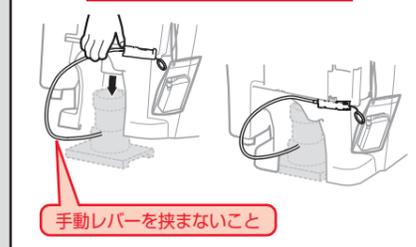
- ③ 便器排水口を排水ソケットに差し込む。

- ・便器の持ちかたは右下図を参考にしてください。
- ・壁面に幅木があり便器が取り付けられない場合には、幅木をカットしてください。

### ポイント

目安として **壁から10~15mm** を目指して真上から取り付けるとスムーズに入ります。  
※壁に傷がつかないように差し込んでください。

### 手動レバーの取り回しかた



※手動レバーを引っ張ったり、便器に挟まないようにしてください。

### 便器の持ちかた



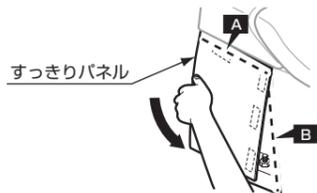
## 9 ウォシュレット本体の取り付け

※取付方法・操作方法は、ウォシュレット本体同梱の施工説明書を参照してください。

- ウォシュレット本体を取り付ける。
- 便器に水が流れているときは、電源プラグをコンセントに差し込む。  
・電気工事が未完了のときは、電池ボックスに乾電池を入れて、電池ボックス用コードをプラグ差し込み口に差し込んでください。
- 手動レバーの動作を確認する。  
・ウォシュレット本体の試運転を行った後、動作確認を行ってください。

## 10 すっきりパネルの取り付け

すっきりパネルを図Aと図B(点線)にあわせてすき間が目立たないように取り付けます。



- ・面ファスナー部(4カ所)をしっかり押さえ、すっきりパネルが外れないことを確認してください。
- ・すっきりパネルにすき間や浮きがある場合は、右図を参考に給水ホースの接続方法を確認してください。詳細は、ウォシュレット本体同梱の施工説明書を参照してください。

### 給水ホース接続方法

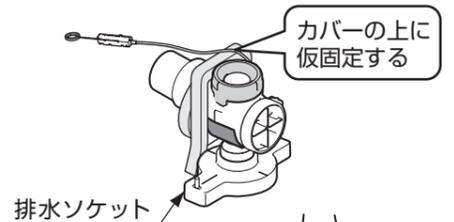


## 大便器背面カバー(別売品)の取り付け

※取り付けが必要な場合のみご確認ください。

- ① 大便器背面カバー同梱の施工説明書に従って①~④まで作業する。

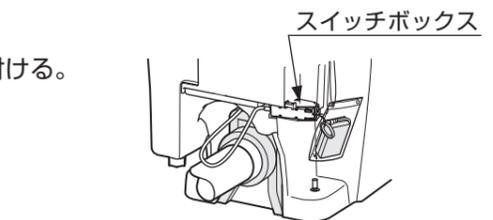
- ② 固定した排水ソケットカバーの上に手動レバーを仮固定する。



- ③ 仮固定した位置がずれないように、便器排水口を排水ソケットに差し込む。  
・便器とカバーのすき間から手動レバーを取り出すこと。



- ④ 手動レバーをスイッチボックスに取り付ける。



- ⑤ 大便器背面カバー同梱の施工説明書「便器の取り付け(つづき)」に従って作業を行う。

## 11 取り付け後の確認

- ・試運転(洗浄)後、便器ボウル内に配管の切粉など異物がないことを確認してください。もらいさびなど異物付着の原因となるおそれがあります。
- ・陶器表面に傷などがいないことを確認してください。陶器表面に金属類(時計のバンド、ベルトのバックルなど)が強く接触したり、こすれたりすると黒や銀色のスジ状の跡が付くことがあります。スジ状の跡が付いた場合は、当社製品「蛇口まわりのクリーナー」で除去してください。
- ・施工したあとは、便器ボウル内に油などの見えない汚れ(コーキング剤、配管用接着剤など)の付く場合がありますので、トイレ用中性洗剤(研磨剤なし)を使って、必ず汚れをふき取ってください。便器ボウル面の洗い残りの原因となります。

## お客様に快適に使っていただくためのポイント

トイレ床材に防水加工がされていないフローリング(木質系)を使用すると、こぼれた小水や結露水などが便器と床材のすき間に入り込み、床シミが発生することがありますので、おすすめできません。フローリング(木質系)を使用される場合は、便器ハカマ下部周囲に防カビ性のシリコン系シール材(メジール)を塗布することをおすすめいたします。

